

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

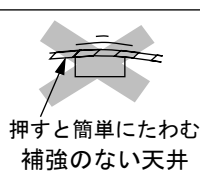
警告

- このような場所には取り付けない。
(この器具は天井面取り付け専用です。)

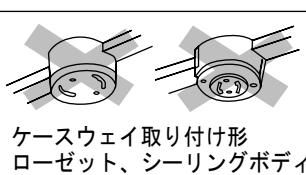
* 器具の落下によるけがの原因となります。



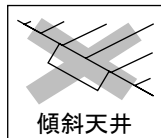
禁止



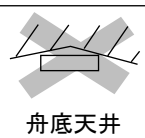
押すと簡単にたわむ
補強のない天井



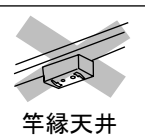
ケースウェイ取り付け形
ローゼット、シーリングボディ



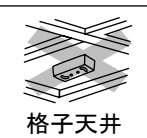
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



格子天井

- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
* 火災・感電・故障の原因となります。

- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。

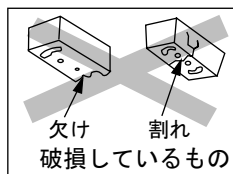
* 感電・故障の原因となります。

- このような配線部品には取り付けない。

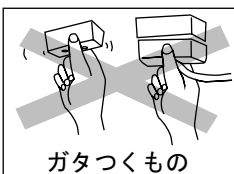
* 火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。



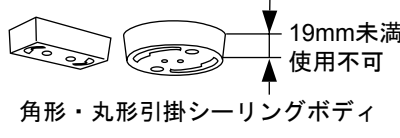
禁止



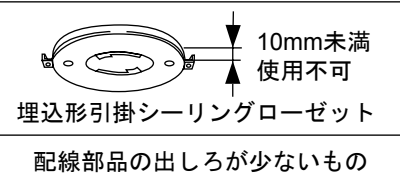
欠け 割れ
破損しているもの



ガタつくもの

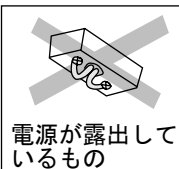


19mm未満
使用不可
角形・丸形引掛シーリングボディ



10mm未満
使用不可
埋込形引掛シーリングローゼット

配線部品の出しろが少ないもの



電源が露出して
いるもの

電気工事店に
依頼して配線
部品を交換し
てください。

注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
* 過熱し、火災の原因となります。

- 浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所
(35℃以上)では使用しない。

* 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

- 点灯中および消灯直後は蛍光灯が熱くなっているため触らない。

* やけどの原因となります。

- お手入れの際や、蛍光灯・保安球などの交換の際には、必ず電源を切る。

* 電源を切らないと感電の原因となります。

- 器具の真下にストーブなどを置かない。
* 過熱し、火災の原因となります。

- 屋外で使用しない。(この器具は屋内専用です。)

* 火災・感電の原因となります。

- 調光器（当社商品名ライトロール）と併用しない。

* 過熱し、火災の原因となります。

- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。

* 器具の落下によるけがの原因となります

- スイッチ引きひもを強く引いたり、引きひもに衝撃を与えない。

* 器具落下・スイッチ故障の原因となります。

このようなことにもご注意を

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。
このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。

- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。
このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。

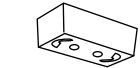
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。

- 室温が低い場合には、ランプの特性上、100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。

- 天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。

器具を取り付ける前に

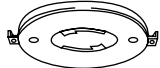
●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



角形引掛
シーリングボディ



丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット



必ず守る

天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

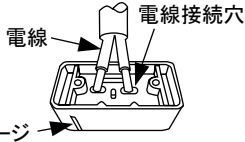
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。

電気工事店(有資格者)のかたへ

●角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

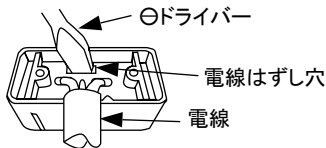
適用電線
φ1.6または
φ2.0 単線



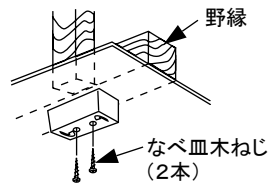
*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。

解除のしかた

●ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



必ず守る

野縁などの補強材のある所に取り付ける。

*補強材のないところに取り付けると器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。

本体を取り付ける前に...

●蛍光灯などを固定しているテープをはがしてください。

●アダプタに付属の角形引掛シーリングボディがついている場合は、アダプタのボタンを押しながら左方向へ回してはずしてください。



必ず守る

本体裏側のスポンジや虫ガードを剥がさない。

*本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。



必ず守る

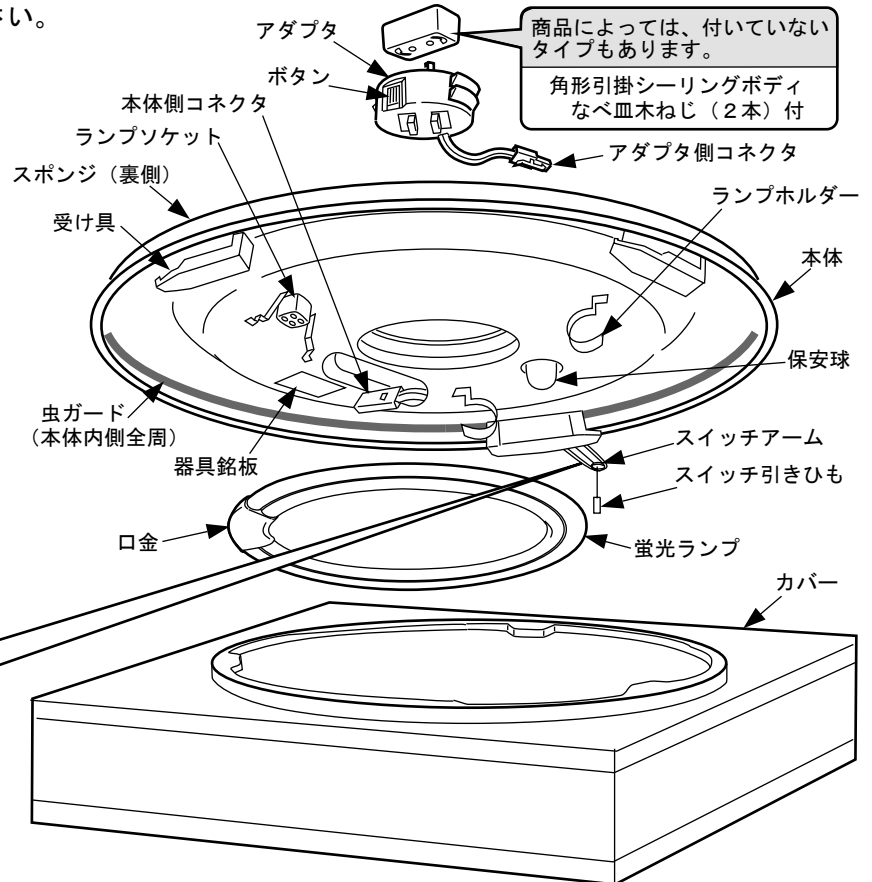
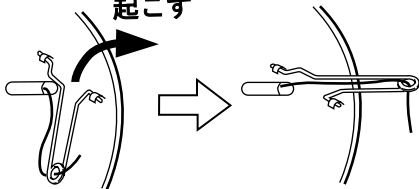
口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。

*接続が不完全な場合、火災の原因となります。

スイッチ引きひもを使用する場合

●スイッチアームを起こしてください。

起こす



商品によっては、付いていないタイプもあります。

角形引掛シーリングボディ
なべ皿木ねじ(2本)付

器具の取り付けかた

1. アダプタの取り付け

電源を切ってください。(壁スイッチを **OFF** にしてください。)

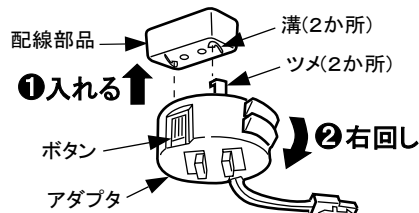
●配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。(ロックが掛かり固定されます。)



必ず守る

取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。

*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



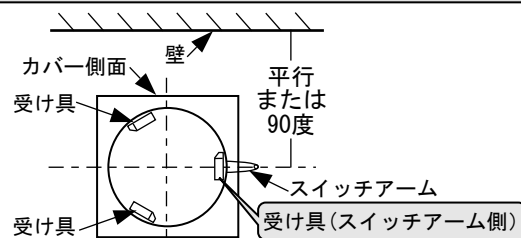
アダプタのはずしかた

ボタンを押しながら左方向へ回してください。

2. 本体の取り付け

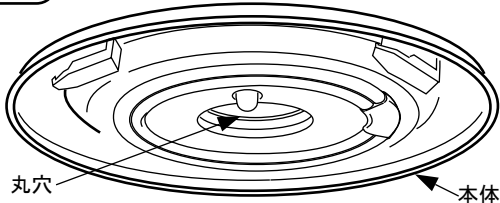
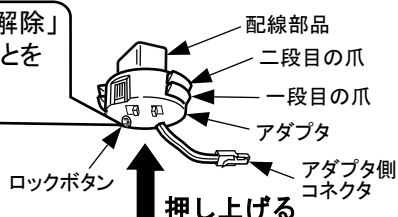
①本体の取り付け位置を決めます。

右図のように、本体の受け具(3ヶ所)の中で、スイッチアーム側の受け具を部屋の壁と平行または90度の位置に合わせると、カバーを取り付けた時に、カバー側面と壁が平行になります。



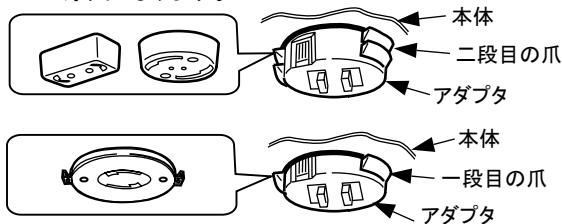
②アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

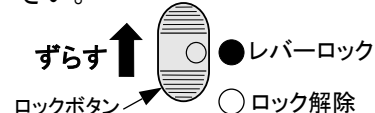


必ず守る

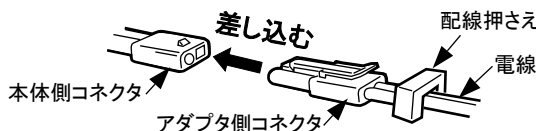
天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので必ず下図を参照し、適切な爪(両側2ヶ所)が本体に掛かっていることを確認する。
* 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



③アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



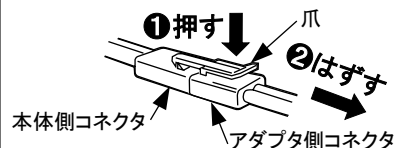
④アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。



コネクタや電線をむりやり引っ張らない。
* 電線が断線し、感電、故障の原因となります。

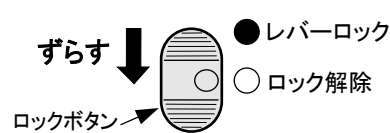
●本体をはずす場合 ①電源を切ってください。(壁スイッチを[OFF]にしてください。)

②コネクタをはずしてください。(アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。)

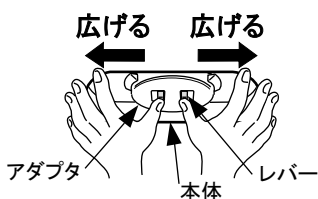


コネクタや電線をむりやり引っ張らない。
* 電線が断線し、感電、故障の原因となります。

③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。

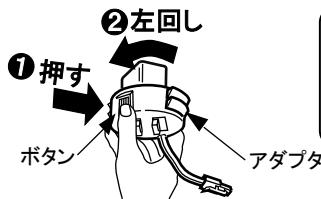


④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー(2ヶ所)を外側に広げてください。



本体が落下するので確実に本体を支えながら作業する。
* 手を離しますと本体落下によるけがの原因となります。

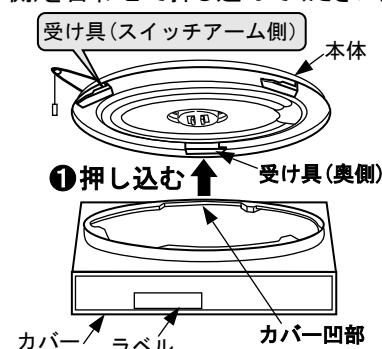
⑤アダプタをはずしてください。(ボタンを押しながら左方向に回してください。)



アダプタをむりやり回さない。
* 配線部品の破損の原因となります。

3. カバーの取り付け

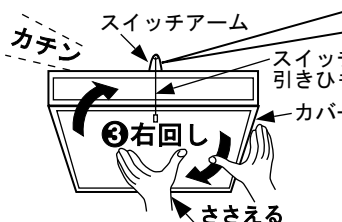
①受け具(スイッチアーム側)が左手前に見える向きで、本体の奥側の受け具にカバー凹部(カバーのラベルと反対側)を合わせて押し込んでください。



②反対側を押し上げてください。



③中央をささえながら、必ずカチンと音がして止まるまで右に回してください。



カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。
* 器具の破損、落下によるけがの原因となります。



カバー側面の中央にスイッチアームがきて、スイッチ引きひもがカバーに当たらず操作出来るか確認する。
* 操作時にカバーに当たるとカバー破損および器具の落下によるけがの原因となります。



取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り確実に取り付けられているか確認する。
* 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

4. 点灯順序確認



注意

- スイッチ引きひもを強く引いたり、引きひもに衝撃を与えない。
*器具落下・スイッチ故障の原因となります。

●スイッチ引きひもを引いて点灯順序をお確かめください。（4段階切り替えスイッチ付きです。）

※全灯100%点灯

※全灯調光点灯
(やや暗くなります)

保安球点灯

消灯

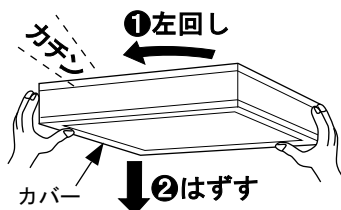
※所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。

*電源を入れたままランプを取り付けた場合、蛍光ランプは点灯しません。この場合、スイッチ引きひもを4回以上引いて点灯確認してください。

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

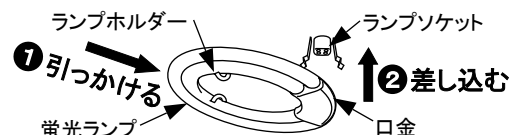
①電源を切ってください。（壁スイッチを「OFF」にしてください。）

②カバーを押し上げながら、左にカチンと音がするまで回し、カバーを取りはずしてください。



③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。

④交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っ掛け、口金をランプソケットに差し込んでください。



●ランプソケットに合わせて確実に接続する。
●口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。
必ず守る *接続が不完全な場合、火災の原因となります。

⑤電源を入れ、点灯確認してください。

●蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

⑥カバーを取り付けてください。（3ページ、③. カバーの取り付け）を参照ください。）

保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。



■お手入れの際や、蛍光ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。

必ず守る *感電の原因となります。

■器具のお手入れ

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。

*石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）

●木部は、柔らかい布かはたきでほこりをはらうようにする。



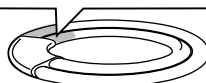
■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。

*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。

禁止

■蛍光ランプの交換時期について

口金付近が全周にわたって黒ずみ明るさが低下しましたら寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えください。



日立ペアルミック70形をお求めください。

●なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。

■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

●点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているため、触らない。



接触禁止



*やけどの原因となります。

●ランプホルダーをランプに強く当たらない。



禁止



*ランプが破損し、けがの原因となります。

仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ	保安球
70W形		交流100V	50Hz-60Hz共用	62W	FHD70	ナツメ球 5W (口金:E12)

アフターサービス

●もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日



日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256